

TRIAL

TECHNICAL SERVICE & RACING DEVELOPMENT

注目
NEWパーツ
TOPICS



トライアル・VICTORY II

対応車種：70スープラ(2JZ/7M-GT)

価格8万5000円(受注生産)

EXチューンの
醍醐味が実感できる、
チューンドカー用
スポーツマフラーだ!



タイコよりもテールの
でかさが目立つ。一見、
うるさそうだけど、音
量は標準レベルとい
うからオトロキ。もう
1000もなんて小怪の
部類か?



「車検対応なんて軟派なマフラーやないで!」とマッキーがコテコテの南国河内弁(九州+大阪)で豪語する、このマフラー。実は、以前、一世を風靡した(どこで? OPT注)ピクトリ・マフラーの後継として蘇った、本格的スポーツマフラーなのだ。

なにしろ、MA70最速と言われる0-400m、11秒-88を叩き出したトライアル・スープラ(7MG)に使われていたマフラー(80φ-100φ)をベースに開発されたというだけあって、そのコンセプトはあくまでもハードチューン対応。2.5版では低速トルクが厳しくなるやろ」というくらい、気合の入ったマフラーというわけだ。

で、まず、目をひくのは、なんといっても40φというテールエンド。テールはでかきやでかいほど音量が大きくなり、さも、消音に苦労したように思えるが、「ベイスは100φやったけど、100φを越えるともう、音量はさほど変わらへん。それなら、デカイに越したことはないやんけ(マッキー談)」とあつけらん。それに



「8万5000円という価格はユーザーサービス。値引き外視でやらせてもらいま!」(マッキー談)

にしても、これだけデカイとそれなりの音がしそうだ、実際は車検対応と同等の音量に納まっているところが心憎い。

材質は、メインパイプ(90φ)がスチール、タイコから後ろがステンレスというハイブリッドタイプ。取り回しはほとんど変えず、なるべくストレート形状にこだわったという。

「ストリートでももちろん、行けるけど、本領を発揮するのは、やはりサーキットやろな。確かに、低速は厳しくなるかも知れんけど、2.5と3.0のパワーチューンドなら問題はないハズ。とにかく、車検対応にはないマフラーチューンの感動、そして手作りの良さを味わって欲しいわ(マッキー談)」

ちなみに、このピクトリIIは完全に受注生産。トライアルの各ショップ(南大阪/東大阪/神戸)に直接注文するというシステムになっているが、もちろん、デューサーも可。その8万5000円というサービスマフラーを考えれば、そのくらいの手間を惜しんでる場合じゃないゾ!